

2024 年度 卒業生アンケート 結果報告 群馬女子大学編（抜粋版）

目次

1. 調査概要	1
2. 回答状況について	1
3. 卒業後の就職状況について	1
4. 就職活動を終えて自分に不足していると感じたもの	2
5. 学生時代に学んだ専門分野は現在の仕事とどの程度関連があるか	2
6. 大学時代に身につけておくべきであると思うもの	2
7. 卒業生から在校生へのメッセージ	3

1. 調査の概要

1) 調査目的

卒業後 3 年が経過した卒業生へのアンケートを送付し、定着状況や当時の就職支援について回答してもらい、今後の就職指導及び学習指導の参考とする。

2) 調査対象

群馬女子大学の令和 3 年度卒業生

3) アンケート期間

令和 7 年 7 月 19 日～令和 7 年 9 月 13 日

4) 送付数

大学 89 名（内訳：人間生活学科 16 名、食物栄養学科 73 名）

※6 名未達返却

5) 回答率

大学 13 名（15.7%）（内訳：人間生活学科 2 名、食物栄養学科 11 名）

※未達分を除いて回収率を算出

2. 回答状況について

令和 3 年度就職決定者（2021 年 3 月卒業）は 89 名おり、全員を対象として発送したが、返送は 6 名となっている。

回答率は発送人数に対して 15.7%（前年度 32.4%）である。

3. 卒業後の就職状況について

回答があった 13 名に関して、卒業後就職した勤務先で働いているかと尋ねた。約 7 割の卒業生が継続勤務しており、就職サポートは概ね良好であった。

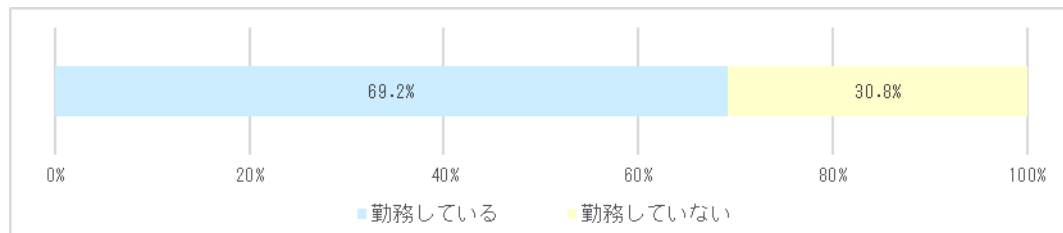


図 1．就職状況

4．就職活動を終えて自分に不足していたと感じたもの

就職活動後に自分に不足していたものを「一般常識」「専門知識・技術」「取得資格」「コミュニケーション能力」「積極性・行動性」「就職への意欲」「就職情報量」「パソコン操作」「社会人としてのマナー」「特にない」「その他」の 11 項目で回答を求めた。

「専門知識・技術」が最多となり現場で求められていることが伺える。次いで「積極性・行動力」、「一般常識」の回答になった反面、「特にない」が 1 割を超えおり、就職活動に特段の困難さを感じていない卒業生もいたと思われる。

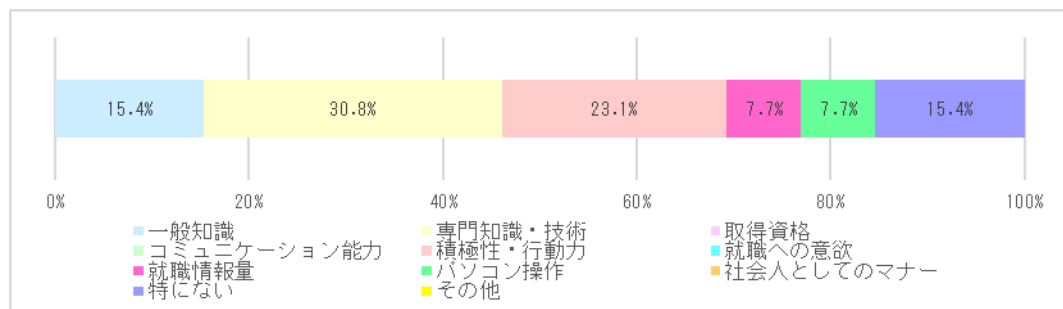


図 2．就職活動を終えて自分に不足していた能力

5．大学時代に学んだ専門分野は現在の仕事とどの程度関連があるか

専門分野を活かした就職できているかを「大いに関連がある」、「やや関連がある」、「あまり関連がない」、「全く関連がない」の 4 項目で回答を求めた。

「大いに関連がある」、「やや関連がある」を合わせると約 8 割以上の卒業生が専門分野を活かした就職をしており、大学で学んだことが業務上何らかの形で活かされていると評価している。

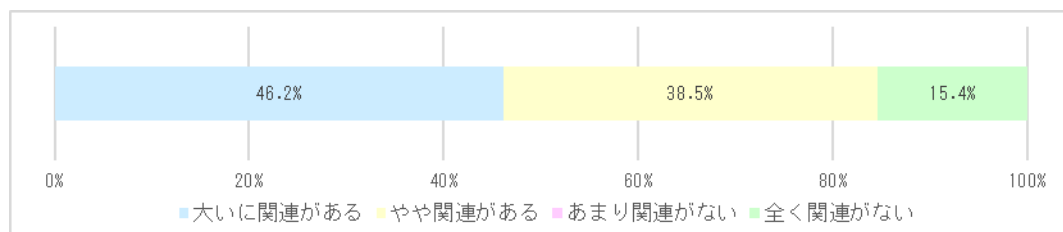


図 3．専門分野と仕事との関連

6．大学時代に身につけておくべきであると思うもの

大学時代に身につけておくべきであると思うものを「大学・短大で学んだ専門知識」、「分析力・考察する力」、「新たな知識を素早く身につける力」、「プレッシャーの中で力を発揮すること」、「時間を有効に使う力」、「他の人と効率よく仕事をする力」、「他の人の知識や能力を結集する力」、「意図を明確に伝える力」、「リーダーシップ」、「パソコン技

術」、「新たなアイディアや解決策を見つけ出す姿勢」、「文章能力」、「その他」の13項目から回答を求めた。

5. 専門分野を活かした就職できているかで約8割以上の卒業生が専門分野を活かした就職に就いているという結果とも合わせ、半数以上の卒業生が「専門知識」を最も身につけておくべき力と回答し、それぞれの現場で即時要求されていることが示唆される。次いで「意図を明確に伝える力」で2割強、「分析力に考察する力」、「新たな知識を素早く身につける力」、「文章能力」と続いた。

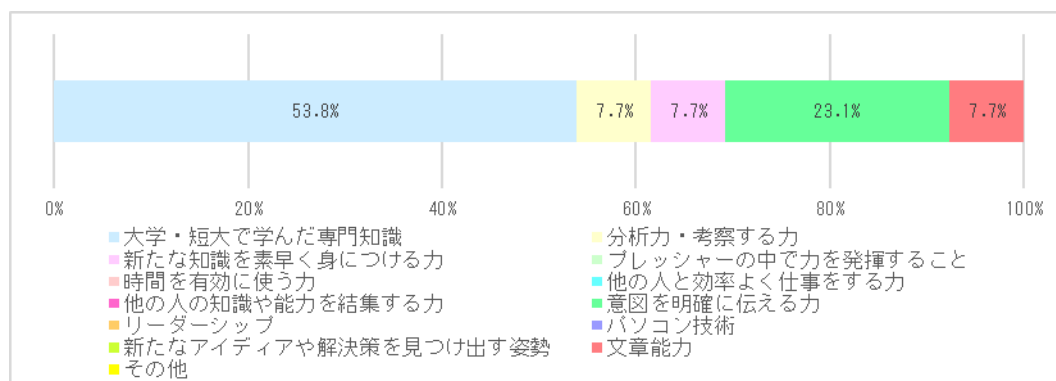


図4. 身につけておくべき力

7. 卒業生から在校生へのメッセージ

最後に卒業生より、在校生へのメッセージをいただいた。

- 大学で学んだことはもちろん、友人と過ごした時間全てが社会に出て役立っています。頑張ってください。
- 仕事でわからない時は先輩、上司に聞いてなるべく早く解決するといいと思います。
- 就職活動は辛く、めげる事もあると思います。頑張った分結果はついてくると自分を信じて、前向きに生きたら大丈夫です。だめな時は好きなものを食べてたっぷり寝てから、もう一度ゆっくり考えてみましょう。焦らず、自分を大事にしてください。応援しています。
- 焦らずにしっかりと就活頑張ってください。